

メマンチン塩酸塩錠10mg「ニプロ」 無包装状態での安定性について

ニプロ株式会社

I. 試料

試験製剤: メマンチン塩酸塩錠10mg「ニプロ」
製造番号: 19Q01

II. 試験条件

保存形態

- ①温度 : 遮光・気密容器
②湿度 : 遮光・開放
③光 : 透明・気密容器

保存条件

- ①温度 : 40°C±1°C 3カ月
②湿度 : 75%RH±5%RH/25°C±2°C 3カ月
③光 : 120万lx・hr

III. 試験結果および考察

『錠剤・カプセル剤の無包装状態での安定性試験法について(答申)』における評価法および評価基準に従い評価した結果は以下の通りである。
メマンチン塩酸塩錠10mg「ニプロ」について、無包装状態での安定性を確認した結果、湿度条件下で31%の硬度低下(規格内)を認めたが、その他の項目については変化を認めなかった。また、総類縁物質含量(規格なし)については、いずれの条件においても定量限界未満であった。

試料	保存条件		外観	含量	硬度	崩壊性	溶出性	評価	【参考値】 純度試験 類縁物質
試験製剤	<開始時>		白色の フィルムコーティング錠	適合	97N		適合		総類縁物質含量 0.00%
	温度	40°C±1°C 3カ月	変化なし	変化なし	変化なし		変化なし	◎	変化なし(0.00%)
	湿度	75%RH±5%RH/25°C±2°C 3カ月	変化なし	変化なし	[0.5カ月] 97→67Nに低下(規格内) [1, 3カ月] 変化なし		変化なし	○	変化なし(0.00%)
	光	120万lx・hr	変化なし	変化なし	変化なし		変化なし	◎	変化なし(0.00%)

試験製剤(外観: 繰り返し1回、含量: 繰り返し3回、硬度: 試料10個、崩壊性: 規格なし、溶出性: 6ベッセル、純度試験 類縁物質: 繰り返し3回 規格なし)の測定結果

<硬度>		分類	評価基準
		変化なし	硬度変化が30%未満の場合
		変化あり(規格内)	硬度変化が30%以上で、硬度が $\geq 2.0\text{kg重}$ (約20N)以上の場合
		変化あり(規格外)	硬度変化が30%以上で、硬度が $\geq 2.0\text{kg重}$ (約20N)未満の場合

◎: 参考値を除く全ての試験項目で変化を認めない

○: 参考値を除くいずれかの試験項目で、「規格内」の変化を認める

△: 参考値を除くいずれかの試験項目で、「規格外」の変化を認める

<<純度試験 類縁物質>> 総類縁物質含量(%): 定量限界0.05%